



6月23日（火）に本校学校薬剤師 茂木毅先生にご来校いただき、喫煙防止教室を実施しました。たばこを吸うことによる自分や周囲への影響について、お話していただきました。当日は“たばこを吸うように誘われたらどのようにして断るか”グループで考える活動も行いました。授業後に集計したアンケートにて、生徒からいくつか質問がありましたので、茂木先生から頂いた回答をご紹介します。

< 学校薬剤師 茂木先生への質問



Q1. なぜ日本でタバコは禁止されていないのですか。

A1.

タバコは体に悪いものですが、残念ながら、日本では完全に禁止にはなっていません。理由は、タバコが長い歴史の中で合法的な嗜好品として扱われてきたことと、国がタバコの販売に税金をかけていて、それが大切な国の運営費になっているからです。ただ、健康被害が大きいので、年齢制限や禁煙場所の拡大など、規制はどんどん強くなっています。以前は様々な場所でタバコ吸う人を目にしましたが、今は特定の喫煙所でしか据えなくなっているのはそのためです。

Q2. どうしてそんなに危険なものが販売されているのですか

A2.

タバコは明らかに体に害がある商品ですが、歴史的に合法だったため、すぐに販売を禁止することは難しくなっています。でも、国は、未成年は買えない、職場や学校や病院では吸えない、パッケージに警告を入れるなど、危険性を減らすための対策を順位強めています。だから、売ってはいますが、体には悪いとしっかり理解することが大切です。

Q3. なぜ、女性の方がタバコを吸うとなくなる確率が高くなるのですか

A3. _

女性は、タバコの煙に含まれる有害物質の影響を受けやすいことが分かっています。例えば、肺の大きさやホルモンの働きの違いで、同じ量を吸っても体へのダメージが大きいことが分かっています。また、女性は肺がんになったときに進行が早い傾向があることも知られています。

Q4. たばこに依存してしまったらどうしたらよいですか

A4. _

依存してしまったら、ひとりで抱え込まないことが一番大事です。まずは、家族や先生、保健室の先生、医療機関など、信頼できる大人に相談してほしいです。もちろん、当然に言いにくいと思いますが、そのままにすると、体の具合も悪くなり、気分が悪くなったりします。タバコは依存する性質を持っています。だから、依存は病気のひとつと考えて、迷わず助けを求めましょう。

*感想（一部抜粋）

- ・自分だけでなく周りの人も体に害が起こるから、絶対に吸わないようにしようと思った。
- ・たばこはとても危ないものだわかりました。私は健康に元氣よく過ごしたいので、絶対に吸わないようにしたいと思いました。もし進められたとしても学んだことを活かして断りたいと思います。
- ・タバコを吸うと肺が黒くなる事を知ってタバコ怖いなと思いました
- ・タバコのことにしれてよかったし、タバコはタール、一酸化炭素、もう一つは忘れたけど3つの物質が入っていて体には悪影響しかないことがわかった。タバコをするとシミが増えるということがわかったので絶対に吸いたくないです。
- ・タバコを吸うとレモン半分のビタミンがなくなるのを知ってそんなにビタミン取られるんだとびっくりした。
- ・タバコを未成年者が吸うと肺がんになるリスクが大人より高まってしまう。
- ・たばこは依存性があり吸い始めたらやめられないらしいし吸っているとシミやシワができてしまうので自分は20歳になっても吸いたくないです。